

洪乾祐著

閩南語考釋

附金門話考釋

文史哲出版社印行



洪乾祐著

閩南語考釋

附金門話考釋

文史哲出版社印行

閩南語考釋 / 洪乾祐著. -- 初版. -- 臺北市.
文史哲, 民國 81
面 : 公分.
參考書目: 面
合索引 (附金門話考釋)
ISBN 957-547-103-2 (平裝)

1. 閩南語

802.5232



81000788

閩南語考釋

附金門話考釋

著者：洪乾祐

出版者：文史哲出版社

登記證字號：行政院新聞局局版臺業字五三三七號

發行人：彭正雄

發行所：文史哲出版社

印刷者：文史哲出版社

台北市羅斯福路一段七十二巷四號
郵撥○五二八八一二彭正雄帳戶
電話：三五一一〇二八

實價新台幣三〇〇元

中華民國八十一年二月初版

81213

究必印翻·有所權版

ISBN 957-547-103-2

閩南語考釋目錄

附：「金門話考釋」

南蠻缺舌今動聽（代序）	一三
凡例	三九
第一章 天時	四一
日頭	四一
沃雨	四一
暴	四二
第二章 時空	四五
一霎久仔	四五
下早起	四五
下晡	四五
下晝	四六
中晝	四七
（三）不時	四七
巴薩（金門話）	四七
少停	四七
在先	四八
早起	四八
走馬樓（金門話）	四六
往常時	四九
晏	五〇
許	五一

這(者).....	五二	外家.....	六五
搖籃血跡(金門話).....	二八八	白身人.....	六五
番屏(金門話).....	二八六	伊.....	六六
闇(暗)冥.....	五三	先生.....	六七
竈脚.....	五四	在室女.....	六七
第三章 鬼神.....	五七	安娘(金門話).....	二六一
卜杯.....	五七	汝.....	六八
孝.....	五八	老母.....	七〇
侑食(金門話).....	二六八	老爸.....	七〇
咒詛.....	五八	吾.....	七一
做醮.....	五九	序大.....	七三
燒金(金門話).....	二九七	序小.....	七四
第四章 稱呼.....	六三	官人.....	七四
下女.....	六三	舍(人).....	七五
大哥.....	六三	阿娘(金門話).....	二六九
火計.....	六四	青盲.....	七六

客兒	七七
後生	七八
家內(金門話)	二七六
珠娘	七八
啞狗	七九
莊家(人)	七九
趁食团(金門話)	二八七
煙花	八〇
該己	八一
剪絡	八二
頭家	八二
羅漢脚	八三
第五章 人事	八五
一世入	八五
一肚倅(金門話)	二五四
一味	八五

人頭殼贅(金門話)	二五五
人贅，情理直。(金門話)	三〇二
也著糜，也著篷。(金門話)	三〇四
大志	八六
大空(金門話)	二五六
大逸(金門話)	二五七
寸進	八八
下紀(葛)	八八
分疏(訴)	八九
去三兩年仔，就著倒來。(金門話)	二五七
心適	九〇
比並	九一
央	九一
扑拚	九二
生分	九三
目頭巧(金門話)	二五九

先生緣，主人福。(金門話).....	三〇五
交代.....	九四
各別.....	九四
有.....	九四
有身.....	九五
收.....	九五
行船無等爸(金門話).....	三〇六
作成.....	九六
別(八).....	九七
庇(致)癮.....	九八
投.....	九八
育.....	一〇二
依原.....	九九
定規.....	九九
定著.....	一〇〇
姑成.....	一〇〇

姑將.....	一〇〇
放雕.....	一〇一
爭差.....	一〇二
抹壁雙屏光(金門話).....	三〇八
狗母無搖獅，狗公不敢來。(金門話).....	三〇八
返.....	一〇三
是不是，扑該已。(金門話).....	三〇九
柶飢失頓(金門話).....	二七二
看成(承).....	一〇三
看相.....	一〇四
紅花魚，契嘴誤。(金門話).....	三〇九
苦毒.....	一〇四
苦憐大.....	一〇五
風聲.....	一〇五
(雇)倩.....	一〇六
衰.....	一〇七

起	一〇七
乾竭 (金門話)	二七八
停 (定) 當	一〇八
參詳	一〇八
唱啫	一〇九
專功 (工)	一一〇
帶手 (金門話)	二八三
張智 (賈、致、緻)	一一〇
強損 (金門話)	二七九
掠	一一一
理會	一一二
細因無六月 (金門話)	三三〇
細膩貓，踏破瓦。(金門話)	三三一
賈	一一二
逞盛 (金門話)	二八三
造化	一一三

陵 (凌) 遲	一一三
壹著	一一四
循序	一一五
插定	一一五
棄嫌	一一六
爲 (金門話)	二八五
棘心	一一七
開化	一一七
開使	一一八
搬戲	一一八
搶年搶節 (金門話)	三二二
歇因	一一九
歇脚	一一九
業 (金門話)	二八八
落番 (金門話)	二九一
號	一一〇

路用	一一〇
過身	一一一
過面 (金門話)	一一三
隔壁噴熄燈火 (金門話)	一一三
構 (觀) 人怨	一一二
滾笑 (金門話)	一一五
飼	一一三
擱襠	一一三
窮厝無窮路 (金門話)	一一四
賣大燈 (金門話)	一一六
鋪排	一一四
擔帶	一一五
寫遠	一一五
親同 (金門話)	一一七
親像人 (金門話)	一一八
應卯名	一一六

第六章 各業

講古	一二六
豁拳	一二七
蹊蹺	一二七
穩當	一二八
爛土有刺 (金門話)	一三四
體面	一二八
了錢	一三一
甘味店 (金門話)	一五九
生理	一三一
交關	一三一
先生媽 (金門話)	二六〇
考校	一三三
作稿	一三四
走水	一三五
店頭	一三五

趁食……………一三六

趁錢……………一三七

落海洋（金門話）……………二八九

頭路……………一三八

賺（轉、撰）錢……………一三八

第七章 情 狀……………一三九

了然……………一三九

上……………一三九

小可……………一四〇

舍眠……………一四一

沒采……………一四一

見笑……………一四二

到……………一四二

受氣……………一四三

垃圾……………一四四

知影……………一四四

（腹肚）枵……………一四五

若……………一四六

清……………一四六

狼狽……………一四七

倏睬……………一四七

淡薄……………一四八

胴……………一四九

細膩……………一四九

脫膊體……………一五〇

敬……………一五一

款……………一五一

無話講榜枵（金門話）……………三一—

會使得……………一五一

會社……………一五二

煞……………一五二

第八章 傷病

著力	一五三
較	一五三
對	一五四
慣習	一五四
精神	一五五
輕可	一五五
瞋	一五五
興頭	一五六
橫直	一五七
歸	一五七
不好	一五九
啲唔	一五九
猶	一六〇
病困	一六〇
著傷	一六一

第九章 褒貶

糊脚糲手	一六一
下消(金門話)	一六三
才調	一六三
本事	一六三
好否	一六四
有禮無體	一六五
老步在(金門話)	一六一
否脚跡位(金門話)	一六三
否款(金門話)	一六四
否嘴料(金門話)	一六四
伶俐	一六六
快活	一六七
狡	一六八
沒頭神	一六九

忠厚，擔屎無偷飲。(金門話).....	三〇七
拗蠻.....	一六九
長進.....	一七〇
勇健.....	一七〇
朽癆(金門話).....	二七三
狡獪.....	一七一
看沒有(金門話).....	三一九
風騷.....	一七二
荒心(金門話).....	二七八
婀娜.....	一七三
頂真.....	一七四
惡到若倭(金門話).....	二八四
散魂(金門話).....	二八四
滑稽.....	一七四
落溲.....	一七五
慘(金門話).....	二九三

標致.....	一七五
艱苦.....	一七六
蠻.....	一七六
第十章 言辭	一七九
也未.....	一七九
正是.....	一八〇
啥.....	一八〇
莫得.....	一八一
敢.....	一八一
絕.....	一八二
嘗.....	一八三
著.....	一八四
著.....	一八五
講話三尖六角(金門話).....	二九八
第十一章 動作	一八七
人來.....	一八七

拚掃	一八七	物配	一九六
束	一八八	厚藻糕	一九七
接(接、挪、摑)	一八八	拭餅(金門話)	二七〇
捻	一八九	風肉(金門話)	二七四
趁	一九〇	食頭(金門話)	二七五
跋	一九〇	哺	一九八
跔	一九一	做甜(金門話)	二七九
搵	一九一	啜	一九九
摛	一九二	麻糍	二〇〇
踉	一九二	葫匏草菜(金門話)	二九二
攄	一九三	槓糖(金門話)	二九四
第十二章 飲食	一九五	審鼓	二〇一
利口(金門話)	二六二	裸粹	二〇三
卵	一九五	噬	二〇四
沙茶(金門話)	二一八	(糝)糜	二〇四
炊	一九六	羹	二〇六

第十三章 器物

蠔仔餅(金門話).....	二九九
物件.....	二〇九
春牛圖.....	二〇九
昭君套.....	二一一
柴履.....	二一二
栲栳(筊筲).....	二一四
畚箕.....	二一五
笊籬.....	二一六
紙字(金門話).....	二七七
茶甌.....	二一六
連枷.....	二二七
盛.....	二二八
鼎.....	二二九
壽板.....	二二〇
鉸剪(刀).....	二三一

第十四章 生物

銅剝.....	二二一
潘.....	二二二
箸.....	二二三
曆日.....	二二四
槩.....	二二五
塵尾.....	二二六
糞(畚)掃.....	二二七
糞(畚)箕.....	二二八
簸箕.....	二二九
鐺(金門話).....	二三〇
籠牀.....	二三〇
干冬(金門話).....	三二六
風(金門話).....	二七四
家蠶.....	二三一
望冬(金門話).....	二八一

麻咪(金門話).....	三二〇	第十六章 數量.....	二四五
粥粥.....	三三一	一些仔.....	二四五
盧盧.....	三三二	么.....	二四五
薤菜.....	三三三	廿(卅、卅).....	二四六
藝.....	三四	加減.....	二四六
髒(贖)牛.....	三五	倍贅(濟).....	二四七
翬.....	三六	攏總.....	二四八
驢馱(金門話).....	三九九	第十七章 語詞.....	二四九
第十五章 單位.....	三三九	阿.....	二四九
一區(田).....	三三九	則個.....	二五一
一葩火(燈).....	三三九	附錄·金門話考釋.....	二五三
一領.....	三四〇	本書主要參考書目.....	三二三
一潑(雨).....	三四一	筆畫索引.....	三三九
一遭.....	三四一		
一頭(婚事).....	三四二		
一擺.....	三四三		

南蠻駮舌今動聽（代序）

從很古老的時代開始，漢族就和許多異族在中國大陸上比鄰居住，或在各處雜居。北、東、西三個方向不說，距離漢文化發源地黃河流域較爲遙遠的東南一帶如現在的江蘇、浙江、福建、江西、廣東、廣西、雲南等省分，直到中南半島北部，都是越族生存繁衍的區域。這些越族合稱百越，也叫百粵。百是形容數量的多，因爲它們中間還可再細分爲衆多不同的支別。百越的文化水準遠比漢族低，但是很驍勇敢戰。漢書說：「自三代之盛，胡、越不與受正朔。非強弗能勝，（非）威弗能制也。以爲不居之地，不牧之民，不足以煩中國也。」（註一）「不牧」是人民「難於教化」的意思。照這記載，胡、越並列，顯然「越」是漢族眼中的野蠻民族了。漢書又說：「粵地，今之蒼梧、鬱林、合浦、交趾、九真、日南，皆界分也。其君禹後，帝少康之庶子云，封於會稽。（今浙江紹興縣）」（註二）唐顏師古注：「臣瓚曰：『自交趾至會稽，七八千里，百越雜處，各有種姓。』」傳至春秋末期，句踐繼承王位。其實吳、越、楚的君主王號是僭稱，只當時的周天子纔可稱王。越俗是「文身斷髮，披草茷而邑焉。」（註三）和漢族的衣冠上國不同。

漢族自黃帝起，歷經顓頊、帝嚳、堯、舜、夏、商、周，活動的範圍還不能很大，大體上多在今西北和北方的幾個省地，開發是由西而東，自北而南，因此逐漸和東南方的土著越族接觸。在這一段一千五、六百年的長時期，有關百越的歷史雖然少有詳盡的記載，但與漢族時和時戰是難免的。漢族憑藉著較高的文明優勢，人口繁殖也快，於是百越逐漸被迫退處一隅，或者臣服，成爲名副其實的蠻邦；但在邊界的地方自然和漢族形成雜處的局面，那是無可懷疑的。（註四）

現在列舉幾個較爲顯著的越來說。一是越國，左定十四年傳：「五月，於越敗吳于檣李。」是春秋時的越國稱爲於越。戰國初年，越國被楚所滅。（註五）到秦漢時，越國分建爲甌越和閩越；甌越在今浙江，閩越在今福建。二是南越，在今兩廣一帶，秦末時趙佗自稱南越武王，後來傳位給子孫，和漢朝和戰不斷。（註六）三是山越，三國時據有西漢時代甌越、閩越、南越的舊地，和吳國抗爭。山越武力的強盛，竟可在魏、蜀、吳三國中間的戰局造成相當的影響。（註七）四是揚越，在今江西。（註八）五是駱越，在今貴州、廣西、雲南一帶。（註九）六是甌駱（又叫西甌駱），在今越南北部。（註一〇）這些百越民族的文化，例如衣、食、住、語言等，和漢族都有很大的差別，很明顯的它們是和漢人截然不同的種族。（註一一）

只就福建來說。周禮夏官職方氏謂「辨其邦國都鄙、四夷、八蠻、九貉、五狄之人民，與其財用、九穀、六畜之數要。」漢鄭玄注：「閩，蠻之別也。」可知福建在周朝時是屬於「七閩」地域，是野蠻民族居住的地方。「閩」和「蠻」通用，造字都從「虫」，傳說和蛇有關，這或是出於古